

NeXT朝日税理士法人ニュース

4月号 VOL. 046

NeXT 朝日税理士法人

〒491-0873

一宮市せんい2-9-16 ササキセルムビル2F

電話：0586-75-5415 FAX：0586-75-5405

<http://next-asahi.jp>



残業について

残業についてのニュースが多いようです。一つは残業時間についての制限です。残業の一番多い月で100時間未満で決着が付きましたが、人手不足とあいまって頭の痛い問題です。

もう一つの問題は残業手当についてです。残業手当不払いで訴えられるとほとんどの場合、会社が負けます。2年間遡りますし、他の社員分も支払うことになるので何百万円とビックリするような支払金額になるのも珍しくありません。

【相続税は一部の富裕層だけのもの?】

平成二十五年度の税制改正により、平成二十七年以後に亡くなられた人から相続税の基礎控除額が引き下げられました。これにより相続税の課税対象となった被相続人の割合が、前年の平成二十六年分に比べて3.6%増加したということが国税庁の平成二十八年十二月の発表で分かりました。発表によると平成二十七年中（平成二十七年一月一日〜平成二十七年十二月三十一日）に亡くなられた人は全国で約129万人（平成二十六年は約127.3万人）でした。このうち相続税の課税対象となった被相続人は約10.3万人（平成二十六年は約5.6万人）で、課税割合は8%（平成二十六年は4.4%）と前年に比べて2倍近くも増加しました。近年の相続税の課税割合は4%程度を推移していましたが、今回の基礎控除額の引き下げによって大幅に増えたことが分かります。相続税の課税価格の合計は約14.6兆円で、被相続人一人当たりになると約1.4億円となっており、またこれによる相続税の納税額は約1.8兆円で、一人当たりでは1758万円になります。相続財産の金額の構成比は土地が一番多く38%で、その他は現金・預金等が30.7%、有価証券14.9%、家屋5.3%、その他11.0%となっています。平成二十五年度の税制改正によって課税の対象となる人が増えた現在では、「相続税は一部の富裕層だけのもの」という考えは見直す必要がありそうです。



袖振り合うも多生の縁! ~ステキな顧問先をご紹介します~

美術額装のお店 **ギャラリー松崎 様**

経験豊富な高い技術力で依頼者のご希望に対応していただけます。絵画、書道、刺繍の裏打ちや陶皿の額装も手掛けていらっしゃいます。外注ではなく**自社工房で制作**されていますので価格も大変お値打ちです。

名古屋市天白区植田山4 TEL/FAX：052-836-0808

営業時間：AM10:00~PM6:00（金・土はPM2:00まで）

定休日：日曜・祝日



オリジナルminiインテリア額

【今月の教えてキーワード：北米自由貿易協定（NAFTA）】

アメリカ、カナダ、メキシコの3カ国が締結した自由貿易の協定のこと。1994年1月に発効した。関税やサービス、投資などの流れに対する障壁を段階的に撤廃し、知的財産権保護ルールとの共通化なども図ってきた。自動車メーカーなどは3カ国をまたいだ生産体制を整備し、米国企業では人件費の安いメキシコに生産拠点を移すきっかけとなった。対メキシコ貿易赤字が増加したことを受け、米国では再交渉を求める声も出ている。

【成功の秘訣は「最後まであきらめろ！」】

最後まであきらめろ——。これは成功者の決まり文句です。あきらめずにやり続ければ誰でも成功する。しかし、あきらめてしまったらそこで終わり。それまでの努力は水の泡。あきらめるのは弱い人間のすることだ。世間にはそんな風潮がありますが、本当に「あきらめる」ことは悪いことなのでしょうか。

そもそも「あきらめる」には2つの漢字があります。一般的に「あきらめる」といえば「諦める」と書き、その意味は「希望や見込みがないと思って断念する」ですが、実は「諦める」の語源は「明らめる」だそうです。

「明らめる」とは事情や理由を明らかにすること。つまり「諦める」は「明らかに極める」から来ているのです。まずは事実や理由をはっきり認識して（明らめる）、その上で状況に合っていなければ断念する（諦める）。この流れが本来の「あきらめる」という行動なのでしょう。「最後まで諦めるな」ではなく「最後まで明らめろ」であれば、まさしく成功の条件だろうと思います。

うまくいかないことに固執するとおおむね失敗します。そこで諦めて次のチャレンジに目が向かないのは「明らめて」いないからでしょう。明らめるとは「受け入れる」ことでもあります。うまくいかない理由を冷静に分析して受け入れなければ、何度も同じことでつまづくのは自明の理。的確な判断は理由を分析して状況を把握することで成し得ます。

どう考えても無理だと「明らめ」たら、すみやかに「諦める」。引き際は企業の存続を左右する非常に重要な判断です。明らめるには「心を明るく楽しくして気持ちを晴れやかにする」という意味もあります。壁にぶち当たったとき、その壁を乗り越えようとする自分を楽しめているかどうか。楽しめていないなら「明らめて」いないのかもしれない。

諦めるのが悪いわけではなく、明らめずに諦める夢の途中の行動こそが、それまでの努力を水の泡にしてしまう「もったいない」行為だというわけでしょう。



人生にはきつと
抜け路がある

今を生きる！

先人の言葉

日本の小説家でありハンセン病で隔離生活之余儀なくされてきた北条民雄の言葉。北条氏いわく「生きる望みさえ失わなければ、そこからきつと抜け出せる」と。

「無料相続相談」実施中です
皆様のお近くにお困りの方、不安をお持ちの方がお見えでしたらお気軽にお声をかけて下さい。
TEL 0586-75-5415

「相続手続き便利帳」プレゼント!
まずはご予約のお電話を下さい。

